

* 深よみめんこちゃん *

深堀保育園で過ごすめんこちゃん達。今回は、うさぎ組ときりん組のクラスからよみ解き、深堀していきます。

～うさぎ組～ 「ちゃぶちゃぶ」

前日に雨が降り、園庭には大きな水溜まりができていました。子どもたちは、その大きな水溜まりに大喜び。ジャンプしたり、足をバシャバシャしたりして、汚れることを気にせず遊んでいます。満足するとその後は、手で泥を優しくなでながら広げたり、山にしたり、泥をすくいとってグニャグニャしたりし、全身で泥の感触を味わい、おもしろさを感じているようでした。

自然事象に興味を示して触れたり、眺めたりしながら遊びに向かっている子ども達の姿を見守り、感覚や感性を豊かできるような水遊びや感触遊びにつなげていきたいと思えます。



こんなふうに育ててほしいなあ…

様々なものに触れ、楽しむ経験ができればいいな！

～きりん組～ 「かわった かわった」

水が気持ち良い時期になり、水や泥の感触を味わったり、草花を採ってきて料理を作ったりしている子ども達です。MちゃんやNちゃんがふるまってくれた出来立ての料理の中には、採って来た葉っぱを更に小さく刻んだものが入っています。その様子を水の色が少し変わって見えることを一緒に確認すると更に細かくし始めました。葉っぱを叩くと、もっと色が出てくることを知り、白い入れ物に移すとより色の変化が楽しめることにも気づき、夢中で遊んでいます。作った色水はペットボトルに溜めて「抹茶ジュース」と名付けていました。子ども達の抹茶ジュース作りは、現在も続いています。

表現することを楽しみながら子ども達同士の関わりも広げていけるような援助をしています。



こんなふうに育ててほしいなあ…

興味のあることに自ら関わり、新しい発見を増やしてほしいな！